

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	12,979千円	15,540千円	19,363千円	0千円
	総人件費	2,972千円	2,931千円	2,931千円	
	総事業コスト	15,951千円	18,471千円	22,294千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	11	在宅老人対策に要する経費

事務事業名	01	在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業	指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	申請を受け、交付条件を満たした人へ助成券を郵送にて交付する。				
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略	-	-	-	-	600名	950名	1,400名	1,400名	-	-	-	その他の指標	-				
個別計画	-	-	-	-	実績	1,062名	1,223名	1,229名									
根拠法令等	在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業実施要綱				H28年度				H29年度								
事業分類	A 任意的事業				改善目標	利用者からの問合せに迅速に対応し、委託業者との連絡を密に行うことで、トラブルの発生に備える。助成券の郵送先を確実に受け取りができる人に設定することで、再送や受取人の助成券の紛失というような事態を減らす。				改善目標	今年度から集配業務をクリーニング業者とは別の業者に委託することになるため、両業者との連絡を密に行い、円滑な事業実施を行う。						
執行体制	全て委託				事業計画	布団(掛布団・敷布団・毛布)の丸洗い乾燥を、65歳以上でひとり暮らし・高齢者世帯は年1回、65歳以上でねたきり状態等の方は年最大2回、無料で実施する。替えの布団がない場合には無料で布団の貸出しを行う。 申請受付: 随時 6月 事業開始				事業計画	布団(掛布団・敷布団・毛布)の丸洗い乾燥を、65歳以上でひとり暮らし・高齢者世帯は年1回、65歳以上でねたきり状態等の方は年最大2回、無料で実施する。替えの布団がない場合には無料で布団の貸出しを行う。 4月 クリーニング業者決定 5月 クリーニング業者及び集配業者と三者で実施方法について協議 6月 事業開始						
事業の目的	ひとり暮らし等により布団の乾燥が困難な方を対象に布団の丸洗い乾燥を行い、高齢者の健康の保持及び生活環境の向上を図り、在宅福祉の増進に寄与するため。				活動実績	助成券交付者数: 1,229名 65歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯、ねたきり状態の方を対象に布団丸洗い乾燥を無料で実施した。替えの布団がない場合には無料で布団の貸し出しを行った。 利用者の増加により、クリーニング業者による集配が困難になってきたため、実施方法の見直しを行った。				上半期活動実績	-						
事業の概要	布団(掛布団・敷布団・毛布)の丸洗い乾燥を、年2回実施する。布団の替えがない方には、布団の貸出も無料で行う。本人もしくは家族等から申請を受け、市で対象条件を確認後、交付が決定したら助成券を自宅に郵送する。委託業者には、交付決定の都度、利用者リストを送付し、事業の実施を依頼する。				成果	ひとり暮らし等により布団の乾燥が困難な方を対象に布団の丸洗い乾燥を無料で行ったことで、高齢者の健康を保持し、生活環境を向上して、在宅福祉の増進に寄与することができた。前年度に比べ利用者がさらに増加し、より多くの高齢者の健康保持に寄与することができた。				上半期成果	-						
ISO 14001	H28 環境関連性	天気汚染の防止		達成	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-			
	H29 環境関連性	天気汚染の防止		達成	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-					
評価	有効性				中: 適切な成果が得られている				評価	有効性				H30年度の方向性	-	理由	-
	効率性				中: 適切な費用対効果が得られている					効率性							
	総合評価				B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	12,979千円	15,540千円	19,363千円	0千円
	総人件費	2,972千円	2,931千円	2,931千円	
	総事業コスト	15,951千円	18,471千円	22,294千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	11	在宅老人対策に要する経費

事務事業名	02 高齢者日常生活支援事業	指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	申請を受け、交付条件を満たした人へ助成券を郵送にて交付する。			
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
			310名	570名	800名	800名	-	-	-						
総合戦略	- - - -	実績	572名	677名	695名										
個別計画	つくば市高齢者福祉計画	改善目標	H28年度 助成券交付者数の増加は著しいが、利用率は半数程度であるため、依頼できる作業が明確でない等の改善点を解消する。				H29年度 作業依頼は業者に直接連絡するようになっているが役所に一度連絡が入ることが多いため、利用者の連絡が一回で済むように、問合せ先の表記順を業者を先にし、問い合わせ内容を明確にして改善する。			その他の指標	-				
根拠法令等	高齢者日常生活支援サ-ビス利用料助成事業実施要項	事業計画	75歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯を対象に、対象者が自ら行うことが困難な作業(掃除,窓拭き,電球取替等)を協力事業所に依頼した際にかかる費用を一部助成する。(一世帯あたり年間1,214円券×5枚)				75歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯を対象に、対象者が自ら行うことが困難な作業(掃除,窓拭き,電球取替等)を協力事業所に依頼した際にかかる費用を一部助成する。(一世帯あたり年間1,214円券×5枚)			事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類	A 任意的事業	申請受付	随時				随時			事業費(A)	4,403千円	8,030千円	9,236千円	0千円	
執行体制	一部委託	活動実績	助成券交付者数:695名 75歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯を対象に、対象者が自ら行うことが困難な作業(掃除,窓拭き,電球取替等)を協力事業所に依頼した際にかかる費用を一部助成した。(一世帯あたり年間1,214円券×5枚)				上半期活動実績			内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	日常生活を送る上で自ら行うことが困難な作業を依頼した際にかかる費用の一部を助成することにより、高齢者の日常生活を支援し、高齢者の在宅福祉の増進を図るため。	成果	日常生活を送る上で自ら行うことが困難な作業を依頼した際にかかる費用の一部を助成することにより、高齢者の日常生活を支援し、高齢者の在宅福祉の増進に寄与できた。また、利用者と協力事業所の間に立ち、情報共有などを行って円滑な事業実施に努めた。				上半期成果			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	対象者が自ら行うことが困難な作業(掃除,窓拭き,電球取替等)を協力事業所に依頼した際にかかる費用の一部を助成する。一世帯あたり年間1,214円券を5枚交付する。本人・家族等から申請を受け、市で対象条件を確認・決定のうえ、助成券を自宅に郵送する。	課題	利用者と事業所の間にトラブルが起こることがあるため、両者の間に立って調整することが必要である。				課題			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性 H29環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	一般財源	4,403千円	8,030千円	9,236千円	0千円	
	達成 本人による助成券受取が難しく、家族等への送付が必要な場合も多いため、送付先を確認し、再配達による余計な自動車の運用を防止する。	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性			人件費(B)	1,486千円	733千円	733千円		
	達成 本人による助成券受取が難しく、家族等への送付が必要な場合も多いため、送付先を確認し、再配達による余計な自動車の運用を防止する。	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性			正職員 内訳	従事割合	0.20人	0.10人	0.10人	
		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価			時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
										臨時職員等	有	有	有		
										事業コスト(A+B)	5,889千円	8,763千円	9,969千円		
										H30年度当初積算根拠	-				
										H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,053千円	6,940千円	9,051千円	0千円
	総人件費	2,229千円	2,198千円	2,198千円	
	総事業コスト	10,282千円	9,138千円	11,249千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	12	老人ホーム入所措置に要する経費

事務事業名	01 老人ホーム入所措置事業	指標名	措置入所者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	5名が継続的な措置入所を行っていたが、平成25年3月に1名死亡したため、以降4名が継続的な措置入所を続けている。			
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
			5名	4名	4名	4名	4名	4名	4						
総合戦略	- - - -	実績	4名	4名	3名					その他の指標	-				
個別計画	つくば市高齢者福祉計画	改善目標	H28年度				H29年度								
根拠法令等	老人福祉法 つくば市老人福祉法施行細則	改善目標	施設への訪問調査の際に、入所者や施設担当者から情報収集を積極的に行い連携を図る。				措置入所者の施設での生活状況、環境の状況の変化についてより詳細に調査し、適正な措置を行う。								
事業分類	C 義務的事業	事業計画	6月 措置入所者の所得確認 下半期 施設へ訪問し、本人の生活状況等の聞き取り調査を行い、継続的な支援が次年度以降も必要かどうか検討を行う				6月 措置入所者の所得確認 7月 費用徴収額決定 12月 施設訪問による状況調査 毎月 措置費支払								
執行体制	職員のみ	活動実績	7月 養護老人ホーム入所者1名を措置解除 1月 3名の入所者について施設を訪問して状況調査を実施し、継続して措置が必要であることを確認やむを得ない理由により、一時的に2名を措置対応(4月、12月)				上半期活動実績								
事業の目的	環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者の心身の健康保持及び生活安定を確保するため。	成果	養護老人ホームの施設担当者と連携を図ることにより、措置者の状況把握ができた。				上半期成果								
事業の概要	環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な65歳以上の高齢者の中で入所判定委員会により入所が必要と認められた者に対し、市の職権により養護老人ホームに入所措置し、その生活費を支弁する。また、被措置者本人の所得に応じて、生活費の一部を徴収する。	課題	環境上及び経済的な理由により措置入所となった者の中で、生活困窮の状況が若干緩和されつつある者がいる。今後、身元引受人と交渉をしていく必要がある。緊急に入院加療が必要となった場合の対応等について検討の必要性がある。				課題								
ISO 14001	H28 環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-				
	H29 環境関連性	評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-								
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-								
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	6,433千円	7,230千円	8,827千円	0千円
	総人件費	4,457千円	4,396千円	4,396千円	
	総事業コスト	10,890千円	11,626千円	13,223千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	13	ひとり暮らし老人福祉に要する経費

事務事業名	01 ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業			指標名	設置台数				指標種別	成果指標	指標の概要	年度末現在，設置されている台数を指標とする。							
	戦略プラン	1	1	高齢者支援体制の整備	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度					
総合戦略	-	-	-	-	実績	241名	228名	213名											
個別計画	H28年度				H29年度				改善目標	改善目標	その他の指標	-							
	委託業者から利用者の入院，入所等の情報が入った場合は，協力員や親族と連絡を取り対応する。				協力員になる人がいないケースもあり，引き続き利用条件の見直し等の検討を行う。														
事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	65歳以上の病弱なひとり暮らしの方，75歳以上のひとり暮らしの方に対し，緊急通報システムを貸与し，急病，災害その他の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り，高齢者等の不安を解消するとともに，生活の安全を確保する。				65歳以上の病弱なひとり暮らしの方，75歳以上のひとり暮らしの方に対し，緊急通報システムを貸与し，急病，災害その他の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り，高齢者等の不安を解消するとともに，生活の安全を確保する。										
事業費(A)	6,121千円	6,943千円	8,532千円	0千円	申請受付：随意 受付後，訪問調査 毎月 お伺い電話による安否確認，状況把握 6月 利用者負担額決定通知送付 9月・3月 負担額徴収				申請受付：随時 受付後，訪問調査 毎月 お伺い電話による安否確認，状況把握 6月 利用者負担額決定通知送付 9月・3月 負担額徴収										
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	活動実績				上半期活動実績										
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	利用者数：213名(3月末時点)				上半期成果										
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	毎月 お伺い電話による安否確認，状況の把握を行った。本人からの救急搬送の要請等は，状況に応じて協力員や親族と連絡をとりながら，救急車の手配等迅速な対応ができた。				課題										
その他特財	617千円	221千円	257千円	0千円	成果				緊急通報，お伺い電話，協力員への確認等により，救急搬送だけでなく，入院・入所等の確認もでき，ひとり暮らしの高齢者の安全確保に寄与できた。										
一般財源	5,504千円	6,722千円	8,275千円	0千円	課題				ひとり暮らしの対象者であっても協力員になる人がいないケースもあり，利用条件の見直しの検討が必要である。										
人件費(B)	3,714千円	3,663千円	3,663千円		事業の進捗状況				事業の進捗状況										
正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人	達成				達成										
内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	有効性				中：適切な成果が得られている										
臨時職員等		無	有	有	効率性				中：適切な費用対効果が得られている										
事業コスト(A+B)	9,835千円	10,606千円	12,195千円		総合評価				B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施										
H30年度当初積算根拠												H30年度の方向性	-	理由	-				
ISO 14001												H28環境関連性				H29環境関連性			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	6,433千円	7,230千円	8,827千円	0千円
	総人件費	4,457千円	4,396千円	4,396千円	
	総事業コスト	10,890千円	11,626千円	13,223千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	13	ひとり暮らし老人福祉に要する経費

事務事業名	02	ひとり暮らし高齢者愛の定期便事業	指標名	利用者数	指標種別	成果指標	指標の概要	年度末現在，利用を続けている人を指標とする。										
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度			H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
実績					140名	100名			100名	100名	-	-	-					
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-				
改善目標					民生委員やケアマネジャーの会議等で他の在宅福祉事業とともに事業周知を行う。				民生委員やケアマネジャーの会議等で他の在宅福祉事業とともに事業周知を行う。									
個別計画	-				事業計画				事業計画				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業計画					見守りが必要な70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に，週3回乳製品を配達する。不在時や緊急時には配達事業者から市に連絡が入り，本人や緊急連絡先に連絡を取り，安否確認を行う。				70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に，最大週3回，乳製品を配達する。配達時に事前の連絡がなく不在だった場合，本人や親族等に連絡を取り，安否確認を行う。									
根拠法令等	つくば市愛の定期便事業実施要項				申請受付：随時				申請受付：随時				内訳	事業費(A)	312千円	287千円	295千円	0千円
事業分類	A 任意的事业				活動実績				活動実績									
執行体制	一部委託				成果				成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	ひとり暮らし高齢者に週3回乳製品を配布し，安否確認・健康保持・孤独感解消を図るため。				課題				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	70歳以上のひとりで生活している高齢者に，週3回乳製品を，安否確認を兼ね配布する。不在時や緊急時には事業者から連絡が入り，高齢福祉課が緊急連絡先に連絡を取ることによって安否確認を行う。				事業の進捗状況				事業の進捗状況				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	-	-		有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-		有効性	-		一般財源	312千円	287千円	295千円	0千円
	H29環境関連性	-	-		効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-		総合評価	-		人件費(B)	743千円	733千円	733千円	
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施								正職員	0.10人	0.10人	0.10人	
														従事割合	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
														時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
														臨時職員等	無	無	無	
														事業コスト(A+B)	1,055千円	1,020千円	1,028千円	
														H30年度当初積算根拠				
														H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	29,882千円	29,293千円	31,554千円	0千円
	総人件費	4,458千円	4,397千円	4,397千円	
	総事業コスト	34,340千円	33,690千円	35,951千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

事務事業名	01	高齢者生きがい活動支援事業	指標名	行事参加人数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	おひさまサンサン生き生きまつりの参加人数を指標とする。					
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
					1,800名	2,300名	2,300名	2,300名	-	-	-							
総合戦略	-	-	-	-	実績	1,800名	1,950名	1,950名				その他の指標	シルバ-クラブ大会 参加人数550名 シルバ-クラブ数 132団体					
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度									
根拠法令等	-	-	-	-	改善目標	おひさまサンサン生き生きまつりについては、地区により参加人数の偏りがあるため、会場内の席の配置を工夫する。屋内になり実施できなくなった種目もあるため、新たな種目の検討を行う。				改善目標 おひさまサンサン生き生きまつり実行委員会において、屋内会場と屋外会場で実施するメリット・デメリットを十分に協議して、次年度の開催について方針を定めていく。								
事業分類	A 任意的事業				事業計画	7月 第28回つくば市シルバ-クラブ大会 10月 おひさまサンサン生き生きまつり2016 4月～3月 シルバ-クラブ育成支援				7月 第29回つくば市シルバ-クラブ大会 10月 おひさまサンサン生き生きまつり2017 4月～3月 シルバ-クラブ育成支援				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
執行体制	全て委託				活動実績	【第28回つくば市シルバ-クラブ大会】 開催日：7月5日 参加者数：550名 【おひさまサンサン生き生きまつり2016】 開催日：10月15日 参加者数：1,950名 実行委員会：7月，9月 会場の席の配置や種目の検討を行った。				上半期活動実績				事業費(A)	13,496千円	12,827千円	13,718千円	0千円
事業の目的	能力に応じた社会参加活動を通じた、高齢者の生きがいづくりと健康の保持を図るため。				成果	高齢者が一堂に会し、交流する場を設けることで高齢者の生きがいづくりに寄与できた。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	・シルバ-クラブ大会・・・役員功労者表彰，感謝状贈呈，講演会等 ・おひさまサンサン生き生きまつり・・・障害福祉課と合同開催。高齢者と障害者が一堂に会し，スポーツやレクリエーションを楽しむ。 ・シルバ-クラブ育成支援・・・年間を通じてシルバ-クラブ連合会の事務局として支援する。				課題	平成27年度よりカピオ(屋内会場)で事業を実施しているが，屋外会場での実施を望む意見も寄せられている。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-		一般財源	13,496千円	12,827千円	13,718千円	0千円	
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		人件費(B)	2,229千円	2,198千円	2,198千円		
													正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	
													時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
													臨時職員等	無	無	無		
													事業コスト(A+B)	15,725千円	15,025千円	15,916千円		
													H30年度当初積算根拠	-	-	-		
													H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	29,882千円	29,293千円	31,554千円	0千円
	総人件費	4,458千円	4,397千円	4,397千円	
	総事業コスト	34,340千円	33,690千円	35,951千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

事務事業名	02	高齢者労働能力活用事業費補助	指標名	契約件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	シルバー人材センター事業の契約件数				
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
					5,100件	5,400件	5,500件	5,600件	5,600件	5,600件	5,600件						
実績					5,200件	5,058件	5,009件					その他の指標	-				
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度								
改善目標					シルバー人材センターの事業について積極的に関わりを持ち、事業の把握と状況確認を定期的に行う。				シルバー人材センターの事業について積極的に関わりを持ち、事業の把握と状況確認を定期的に行う。								
個別計画	高齢者福祉計画		事業計画	公益社団法人つくば市シルバー人材センターが円滑な運営ができるよう、補助金を交付する。				公益社団法人つくば市シルバー人材センターが円滑な運営ができるよう、補助金を交付する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等	高齢者労働能力活用事業費補助金交付要綱		活動実績	6月 高齢者労働能力活用事業補助金交付要綱により11,000千円を交付				-				事業費(A)	11,150千円	11,150千円	11,150千円	0千円	
事業分類	E 補助金・負担金事業		成果	シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、社会参加の促進や高齢者の生きがいの充実、就業機会の拡大等につながった。				-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	補助金(直接)		課題	継続的にシルバー人材センターの事業把握と状況確認を行っていく必要がある。				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進及び就業機会の拡大を図り、高齢者福祉の増進に資するため。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	公益社団法人つくば市シルバー人材センターが円滑な運営ができるよう、補助金を交付する。		評価	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
	H28環境関連性	-		効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-	一般財源	11,150千円	11,150千円	11,150千円	0千円			
	H29環境関連性	-		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-	人件費(B)	743千円	733千円	733千円				
	ISO 14001	-								正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人			
										時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間				
										臨時職員等	無	無	無				
										事業コスト(A+B)	11,893千円	11,883千円	11,883千円				
										H30年度当初積算根拠	-						
										H30年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	29,882千円	29,293千円	31,554千円	0千円
	総人件費	4,458千円	4,397千円	4,397千円	
	総事業コスト	34,340千円	33,690千円	35,951千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

事務事業名		03 いきいきサロン事業		指標名	利用者数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	利用者数			
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
総合戦略		- - - -		実績	2,700名	2,700名	2,700名	2,700名	2,700名	2,700名	2,700名	その他の指標	-			
個別計画		-		H28年度				H29年度								
根拠法令等		-		改善目標	交通弱者に対し出前講座の周知を図る。また、新しいメニューを企画し参加者を募る。				改善目標	会場へ出向くことができない高齢者も多くいるため、出前講座を拡充していく。						
事業分類		A 任意的事業		事業計画	利用者が少ないメニューは廃止し、新規講座を開設する。開催箇所について前年同様4か所で開催し、出前講座については拡充をする。特別サロン講座を2講座程度開催し、利用者の拡大を目指し事業を実施する。				事業計画	前年同様4ヶ所で開催し、出前講座については拡充する。利用者の拡大を目指し、新規講座等も開設する。						
執行体制		全て委託		活動実績	市内在住おおむね60歳以上の方を対象に、4会場(老人福祉センターとよさと、市民研修センター、荳崎農村高齢者交流センター、大穂交流センター)で実施。3ヶ月ごとにメニュー表を作成し、メニューに基づき講師を派遣しサロンを開催した。会場へ出向くことができない高齢者に対しては、出前サロンを実施した。 【実施回数】 通常サロン 241回 2,100名 出前サロン 24回 411名 特別サロン 6回 95名				上半期活動実績	-						
事業の目的		高齢者の社会参加を促進し、仲間づくりや生きがいの充実を図るため。		成果	高齢者の社会参加の促進と、生きがいづくりに寄与できた。				上半期成果	-						
事業の概要		老人福祉センター等を会場として市内6箇所にて、高齢者が自由に参加できる講座を曜日ごとに開催する。また、小地域に出向いて出前講座を実施している。講座は、体操・歌・絵手紙・フラダンスなど。		課題	会場へ出向くことができない高齢者も多くいるため、今後も出前講座を拡充していく必要がある。				課題	-						
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-			
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-	理由	-					
ISO 14001		H29環境関連性		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている	評価	効率性	-	理由	-					
ISO 14001		H29環境関連性		評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-	理由	-				
ISO 14001		H29環境関連性		事業実施コスト				H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
ISO 14001		H29環境関連性		事業費(A)				4,574千円	4,710千円	5,132千円	0千円	事業費(A)	4,574千円	4,710千円	5,132千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		国庫支出金				0千円	0千円	0千円	0千円	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		県支出金				0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		地方債				0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		その他特財				0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		一般財源				4,574千円	4,710千円	5,132千円	0千円	一般財源	4,574千円	4,710千円	5,132千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		人件費(B)				743千円	733千円	733千円		人件費(B)	743千円	733千円	733千円	
ISO 14001		H29環境関連性		正職員				0.10人	0.10人	0.10人		正職員	0.10人	0.10人	0.10人	
ISO 14001		H29環境関連性		従事割合				0.00時間	0.00時間	0.00時間		従事割合	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
ISO 14001		H29環境関連性		時間外勤務				0.00時間	0.00時間	0.00時間		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
ISO 14001		H29環境関連性		臨時職員等				無	無	無		臨時職員等	無	無	無	
ISO 14001		H29環境関連性		事業コスト(A+B)				5,317千円	5,443千円	5,865千円		事業コスト(A+B)	5,317千円	5,443千円	5,865千円	
ISO 14001		H29環境関連性		H30年度当初積算根拠				-				H30年度当初積算根拠	-			
ISO 14001		H29環境関連性		H30年度の方向性				-				H30年度の方向性	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	29,882千円	29,293千円	31,554千円	0千円
	総人件費	4,458千円	4,397千円	4,397千円	
	総事業コスト	34,340千円	33,690千円	35,951千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

事務事業名	04	健康福祉祭いばらきねりんスポーツ大会	指標名	参加人数				指標種別	成果指標	指標の概要	予選及び市大会に参加した人数を指標とする。					
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
戦略プラン	-	-	-	400名	450名	600名	600名	-	-	-						
総合戦略	-	-	-	実績	441名	579名	560名									
個別計画	-	-	-	H28年度				H29年度								
				改善目標	社会福祉協議会との連携のもと、競技内容を周知し参加者募集の広報活動を行う。				改善目標	社会福祉協議会との連携のもと、競技内容を周知し参加者募集の広報活動を行う。						
根拠法令等	-	-	-	事業計画	4月、5月 実行委員会 5月 市報による広報、シルバークラブ会員への広報 5月 市北部及び南部予選(種目：グラウンドゴルフ) 6月 つくば市大会(種目：グラウンドゴルフ、ゲートボール、ペタンク、クロッカー、輪投げ)				4月、5月 実行委員会 5月 市報による広報、シルバークラブ会員への広報 5月 市北部及び南部予選(種目：グラウンドゴルフ) 6月 つくば市大会(種目：グラウンドゴルフ、ゲートボール、ペタンク、輪投げ)							
事業分類	A 任意的事業			活動実績	4月、5月 実行委員会 5月 市報による広報、シルバークラブ会員への広報 【予選会】 開催日：5月19日(南部)、5月25日(北部) 種目：グラウンドゴルフ 【つくば市大会】 開催日：6月1日 種目：グラウンドゴルフ、ゲートボール、ペタンク、輪投げ 予選会を含む参加者総数：560名				上半期活動実績	-						
執行体制	全て委託			成果	高齢者が愛好するスポーツ競技を通して、健康の保持増進や地域間の交流を図ることができた。				上半期成果	-						
事業の目的	・高齢者に適したスポーツを通じて健康の維持増進を図るとともに、地域間の交流を深め、明るく活力のある長寿社会を推進するため。			課題	次回開催についても、社会福祉協議会との連携のもと、参加者募集の広報活動を行う必要がある。				課題	-						
事業の概要	単位シルバークラブや高齢者団体へ広報紙等を利用して募集、茨城県健康福祉祭いばらきねりんスポーツ大会の予選会として市大会(グラウンドゴルフ・ゲートボール・クロッカー・ペタンク・輪投げ)を開催する。			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-			
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-	評価	効率性		-	H30年度の方向性	-	理由
	H29環境関連性	-	-	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	87,242千円	90,011千円	95,802千円	0千円
	総人件費	10,297千円	14,902千円	14,902千円	
	総事業コスト	97,539千円	104,913千円	110,704千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	15	敬老事業に要する経費

事務事業名		01 敬老祝金給付事業		指標名	敬老祝金給付数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	1年以上つくば市に居住している75歳以上、88歳、100歳、100歳以上の対象者への給付数
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
総合戦略		- - - -		実績	19,145人	19,754人	20,551人							その他の指標	-
個別計画		-		H28年度				H29年度							
根拠法令等		つくば市敬老祝金給付条例		改善目標	他市町村の給付状況等を確認しながら対象年齢の引き上げ等を検討していく。				改善目標	高齢化に伴い、対象者が年々増加しているため、対象者の見直し等を行う。					
事業分類		A 任意的事業			事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 一般敬老祝金 9月 簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。 75歳以上(3,000円) 約20,300人 特別敬老祝金 9月 簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。 88歳(10,000円) 約700人 101歳以上(20,000円) 約75人 9月 対象者宅を訪問し、祝金(現金)を贈呈する。 100歳(30,000円) 約35人 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 一般敬老祝金 9月 簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。 75歳以上(3,000円) 約21,500人 特別敬老祝金 9月 簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。 88歳(10,000円) 約780人 101歳以上(20,000円) 約95人 9月 対象者宅を訪問し、祝金(現金)を贈呈する。 100歳(30,000円) 約40人 				
執行体制		一部委託		活動実績		<ul style="list-style-type: none"> 一般敬老祝金 9月 簡易書留で対象者へ商品券を贈呈した。 75歳以上(3,000円) 19,741人 特別敬老祝金 9月 簡易書留で対象者へ商品券を贈呈した。 88歳(10,000円) 712人 101歳以上(20,000円) 67人 9月 対象者宅を訪問し、祝金(現金)を贈呈した。 100歳(30,000円) 31人 					上半期活動実績	-			
事業の目的		長寿を祝福し敬老の意を表するとともに、福祉の増進に寄与するため。			成果	商品券の使用率：95.54%				上半期成果		-			
事業の概要		8月1日の基準日において、1年以上つくば市に居住している方が対象となる。 ・一般敬老祝金 年度内75歳以上になる方へ簡易書留で商品券を贈呈する。 ・特別敬老祝金 年度内88歳及び101歳以上の方へ簡易書留で商品券を郵送する。 また、年度内100歳になる方へ、老人週間の前後2週間以内に福祉部・保健医療部職員が自宅を訪問し、敬老祝金(現金)を給付する。		課題		高齢者の方々が、買い物へ出かけるきっかけづくりとなり、地域との交流が図られるとともに、地域の商店街の活性化に貢献できた。					課題	対象者が年々増加している。 88歳及び101歳以上の方は、一般敬老祝金と特別敬老祝金が重複して該当になるため、見直すことを検討している。			
ISO 14001		H28環境関連性			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	
		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H30年度の方向性	-	理由	-
				評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-					
				評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	87,242千円	90,011千円	95,802千円	0千円
	総人件費	10,297千円	14,902千円	14,902千円	
	総事業コスト	97,539千円	104,913千円	110,704千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	15	敬老事業に要する経費

事務事業名		03 長寿をたたえる事業		指標名	対象人数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	年度内に誕生日を迎える100歳の対象者人数						
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略		- - - -		実績	857人	34人	33人												
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標	-						
事業の目的		高齢者の長寿をたたえ、高齢者を敬愛する意識の啓発を図るため。		改善目標	本人の居所を確認し、できる限り本人へ贈呈する。				改善目標	本人の居所を確認し、できる限り本人へ贈呈する。									
事業計画		9月 対象者約35人へ直接訪問し、ほう状および記念品を贈呈する。		事業計画	9月 対象者約40人へ直接訪問し、ほう状および記念品を贈呈する。				事業計画	9月 対象者約40人へ直接訪問し、ほう状および記念品を贈呈する。				内訳	事業実施コスト				
事業の概要		8月1日現在つくば市に住所を有し100歳の誕生日を年度内に迎える方に対し、老人週間の前後2週間以内に職員が自宅を訪問し、ほう状等を贈呈する。			成果	長寿を祝福し、敬老の意を表し、高齢者のいきがいに貢献できた。				成果	-				H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
課題		本人には会えず、家族に渡す形になることが多い。		課題	-				課題	-					事業費(A)	286千円	262千円	361千円	0千円
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-	-		-		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H28環境関連性		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-	-		-		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-	-		-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H28環境関連性										一般財源	286千円	262千円	361千円	0千円			
ISO 14001		H29環境関連性										人件費(B)	743千円	2,198千円	2,198千円				
ISO 14001		H28環境関連性										正職員	従事割合	0.10人	0.30人	0.30人			
ISO 14001		H29環境関連性										時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間				
ISO 14001		H28環境関連性										臨時職員等	有	無	無				
ISO 14001		H29環境関連性										事業コスト(A+B)	1,029千円	2,460千円	2,559千円				
ISO 14001		H28環境関連性										H30年度当初積算根拠							
ISO 14001		H29環境関連性										-							
ISO 14001		H28環境関連性										H30年度の方向性							
ISO 14001		H29環境関連性										理由							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,390千円	8,439千円	9,288千円	0千円
	総人件費	2,898千円	2,932千円	2,932千円	
	総事業コスト	11,288千円	11,371千円	12,220千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	16	老人援護に要する経費

事務事業名	01 高齢者用福祉タクシー助成事業	指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	交付者数		
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
			1,500名	1,600名	1,650名	1,700名	-	-	-					
総合戦略	- - - -	実績	1,458名	1,546名	1,527名					その他の指標	-			
個別計画	高齢者福祉計画	改善目標	H28年度				H29年度							
			期限切れの助成券を預かることがないよう、協力店に対し、助成券を預かる際の確認について周知徹底する。				期限切れの助成券を預かることがないよう、協力店に対し、助成券を預かる際の確認について周知徹底する。							
根拠法令等	つくば市高齢者タクシー-利用料金助成要綱	事業計画	65歳以上のひとり暮らし及び70歳以上の高齢者世帯、または70歳以上で市民税非課税世帯の方に、タクシー運賃を助成する。(初乗運賃券12枚)				65歳以上のひとり暮らし及び70歳以上の高齢者世帯、または70歳以上で市民税非課税世帯の方に、タクシー運賃を助成する。(初乗運賃券12枚)							
			申請受付:随時 協力事業所受付:随時 (1月 現年度協力事業所へ協力申出書送付)				申請受付:随時 協力事業所受付:随時 (1月 現年度協力事業所へ協力申出書送付)							
事業分類	A 任意的事业	活動実績	助成券交付者数:1,527名				-							
執行体制	職員のみ	成果	65歳以上のひとり暮らし及び70歳以上の高齢者世帯、または70歳以上で市民税非課税世帯の方に、タクシー運賃を助成した。(初乗運賃券12枚)				-							
		課題	1月 現年度協力事業所へ協力申出書送付				-							
事業の目的	65歳以上のひとり暮らし及び70歳以上の高齢者世帯、または70歳以上で市民税非課税世帯のタクシー運賃の初乗運賃を助成することにより、高齢者の外出支援及び社会参加を促すため。		高齢者の外出支援、社会参加に役立つことができた。				-							
事業の概要	外出時に利用するタクシーの初乗運賃を助成する。申請を受け、審査し該当者に12枚の助成券を交付する。		昨年度の助成券を使用して、そのまま請求されることもあるので、今年度のものかどうかの確認を事業所に周知する。				-							
ISO 14001	H28 環境関連性	達成	天気汚染の防止				達成							
		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-					
	H29 環境関連性	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-						
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-						
		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	H30年度当初積算根拠							
		事業費(A)	6,075千円	6,160千円	6,494千円	0千円	-							
		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	-							
		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	-							
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	-							
		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	-							
		一般財源	6,075千円	6,160千円	6,494千円	0千円	-							
		人件費(B)	743千円	1,466千円	1,466千円		-							
		正職員	0.10人	0.20人	0.20人		-							
		従事割合					-							
		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		-							
		臨時職員等	有	有	有		-							
		事業コスト(A+B)	6,818千円	7,626千円	7,960千円		-							
		H30年度当初積算根拠	-								H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,390千円	8,439千円	9,288千円	0千円
	総人件費	2,898千円	2,932千円	2,932千円	
	総事業コスト	11,288千円	11,371千円	12,220千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	16	老人援護に要する経費

事務事業名	02 あん摩, マッサージ, 指圧, はり及びきゅう施術費助成事業	指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	交付者数			
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
		実績	700名	700名	800名	800名	-	-	-						
総合戦略	- - - -		779名	767名	769名										
個別計画	高齢者福祉計画	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
			助成券の郵送先を確実に受け取りができる人に設定することで、再送や受取人の助成券の紛失というような事態を減らす。				申請前に利用できる協力施術所を知りたいという問合せもあるので、助成券の裏だけでなく協力施術所一覧表を用意して、周知や利用者からの問合せへの対応を行い、助成券の利用拡大を促す。								
根拠法令等	つくば市あん摩, マッサージ, 指圧, はり及びきゅう施術費助成要綱	事業計画	70歳以上の高齢者に対し、あん摩・マッサージ・はり及びきゅうの施術を受ける際の費用の一部を助成する。(1枚で1,000円分の助成、申請時期により給付枚数は異なる)				70歳以上の高齢者に対し、あん摩・マッサージ・はり及びきゅうの施術を受ける際の費用の一部を助成する。(1枚で1,000円分の助成、申請時期により給付枚数は異なる)				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	A 任意的事業		申請受付: 随時 協力事業所受付: 随時 (1月 現年度協力事業所へ協定書送付)				申請受付: 随時 協力事業所受付: 随時 (1月 現年度協力事業所へ協定書送付)				事業費(A)	1,783千円	1,767千円	2,238千円	0千円
執行体制	職員のみ	活動実績	助成券交付者数: 769名				70歳以上の高齢者に対し、あん摩・マッサージ・はり及びきゅうの施術を受ける際の費用の一部を助成した。(1枚で1,000円分の助成、申請時期により給付枚数は異なる)				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	あん摩, マッサージ等の施術費を助成することにより、高齢者の健康維持に寄与するため。		12月 現年度協力事業所へ協定書送付				上半期活動実績				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	70歳以上の高齢者に対し、あん摩, マッサージ, 指圧, はり及びきゅう施術を受ける際の費用の一部を助成する(年間最大1,000円券×8枚)。健康保険法, その他の法令により医療に関する給付として行われているものを除く。	成果	あん摩, マッサージ等の施術費を助成することにより、高齢者の健康維持に寄与することができた。				上半期成果				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
		課題	他の助成券に比べて利用者数が少ないので、事業周知を効果的に行う必要がある。				課題				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	内訳	一般財源	1,783千円	1,767千円	2,238千円	0千円
	H29環境関連性	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている	有効性	-				人件費(B)	743千円	733千円	733千円		
			効率性	中: 適切な費用対効果が得られている	効率性	-				正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人	
			総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	総合評価	-				時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
										臨時職員等	有	有	有		
										事業コスト(A+B)	2,526千円	2,500千円	2,971千円		
										H30年度当初積算根拠	-				
										H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,390千円	8,439千円	9,288千円	0千円
	総人件費	2,898千円	2,932千円	2,932千円	
	総事業コスト	11,288千円	11,371千円	12,220千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	16	老人援護に要する経費

事務事業名	03	ねたきり高齢者理美容料助成事業	指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	交付者数				
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
					150名	160名	160名	160名	160名	160名	160名						
総合戦略	-	-	-	-	実績	141名	150名	152名									
個別計画	高齢者福祉計画		改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-				
根拠法令等	つくば市ねたきり高齢者理美容料助成事業実施要綱		改善目標	利用者数が少ないので、広報誌や窓口での案内を通して事業周知を行う。				利用者数が少ないので、広報誌や窓口での案内を通して事業周知を行う。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類	A 任意的事業		事業計画	65歳以上の要介護4・5認定者またはねたきり状態の方を対象に、家で理美容を受ける際の費用の一部を助成する。(4,000円券×2枚) 申請受付：随時 協力事業所受付：随時 (1月 現年度協力事業所へ協定書送付)				65歳以上の要介護4・5認定者またはねたきり状態の方を対象に、家で理美容を受ける際の費用の一部を助成する。(4,000円券×2枚) 申請受付：随時 協力事業所受付：随時 (1月 現年度協力事業所へ協定書送付)				事業費(A)	532千円	512千円	556千円	0千円	
執行体制	職員のみ		活動実績	助成券交付者数：152名 65歳以上の要介護4・5認定者またはねたきり状態の方を対象に、家で理美容を受ける際の費用の一部を助成した。(4,000円券×2枚) 1月 現年度協力事業所へ協力申出書送付				上半期活動実績				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	ねたきりの高齢者に対し、その居宅において受ける理容及び美容料金の一部を助成し、利用者の衛生的で健康的な生活を支援すると共に、家族の負担を軽減し、在宅高齢者福祉の増進に寄与するため。		成果	ねたきりの高齢者に対し、居宅における理美容料金の一部を助成することで、利用者の衛生的で健康的な生活を支援すると共に、家族の負担を軽減し、在宅高齢者福祉の増進に寄与できた。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	65歳以上で要介護4・5認定者または常時ねたきりで理美容所に行くことが困難な在宅の方が、出張理美容を受ける際の利用料金助成を行う。年間助成券(4,000円×2枚)を交付し、助成券は市の協力理美容所で使用する。		課題	他の助成券に比べて利用者数が少ないので、事業周知を効果的に行う必要がある。				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28 環境関連性	達成	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	人件費(B)	1,412千円	733千円	733千円			
	H29 環境関連性	達成	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		正職員	従事割合	0.19人	0.10人	0.10人		
				効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-		内職	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		臨時職員等	有	有	有			
											事業コスト(A+B)	1,944千円	1,245千円	1,289千円			
											H30年度当初積算根拠	-					
											H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要 する 経 費 全 体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	11,067千円	10,783千円	11,188千円	0千円
	総人件費	2,229千円	2,931千円	2,931千円	
	総事業コスト	13,296千円	13,714千円	14,119千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	17	シルバークラブ助成に要する経費

事務事業名	01	シルバークラブ育成事業	指標名	単位シルバークラブ数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば市内にある単位シルバークラブの団体数	
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
戦略プラン	-	-	-	-	150団体	140団体	140団体	140団体	-	-	-	
総合戦略	-	-	-	-	実績	140団体	134団体	132団体				
個別計画	高齢者福祉計画		H28年度				H29年度				その他の指標	-
			改善目標	減少しているシルバークラブ会員数及び単位シルバークラブ数に歯止めをかけるため、若手の会員を中心として活性化に向けた具体的な提案・対策を講じる。				改善目標	シルバークラブ会員数及び単位シルバークラブ数減少への対策として、補助金の交付要件等について検討する。			
根拠法令等	単位シルバークラブ補助金交付要項 シルバークラブ連合会補助金交付要項		事業計画	4月 補助金交付申請受付 7月 補助金交付(単位シルバークラブ,シルバークラブ連合会) 6月,9月,12月,2月,3月 活動活性化委員会				事業計画	4月 補助金交付申請受付 7月 補助金交付(単位シルバークラブ,シルバークラブ連合会) 6月,9月,12月,2月 活動活性化委員会			
事業分類	E 補助金・負担金事業		活動実績	4月 補助金交付申請受付 8月 補助金交付 ・単位シルバークラブ131団体 7,756千円 ・シルバークラブ連合会 3,000千円 6月,9月,12月,2月,3月 活動活性化委員会				上半期活動実績	-			
執行体制	補助金(直接)		成果	単位シルバークラブ:定期的に会員同士の交流を深め,各種スポーツ活動を通じた生きがいと健康づくり,仲間づくりを行うことができた。 シルバークラブ連合会:スポーツ大会の開催やシルバークラブ大会の開催により,貢献者を表彰するなどして,意識の高揚を図ることができた。				上半期成果	-			
事業の目的	地域での仲間づくり,健康の保持,知識や経験を活かした能力の発揮,社会活動への参画と貢献など,いきいきとした高齢期の生活づくりを支援するため。		課題	シルバークラブ会員数及び単位シルバークラブ数減少への対策を引き続き講じて行く必要がある。				課題	-			
事業の概要	補助金を交付し,各単位シルバークラブ及びシルバークラブ連合会の活動を支援していく。会員数100名以上67,600円,50名以上100名未満62,600円,30名以上50名未満57,600円,30名未満20,000円を交付。連合会に対しては,3,000,000円交付。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-
	ISO 14001	H28環境関連性	-				H29環境関連性	-				
評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H30年度の方向性	-	理由	-	
	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	1,041千円	3,320千円	1,233千円	0千円
	総人件費	1,486千円	1,466千円	1,466千円	
	総事業コスト	2,527千円	4,786千円	2,699千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	18	ふれあい元気広場管理に要する経費

事務事業名	01	ふれあい元気広場管理運営事業	指標名	施設貸出延べ団体数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	団体への総貸出延べ団体数			
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
実績					308団体	442団体	442団体	440団体	440団体	440団体	440団体					
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-		
改善目標					多くの高齢者がふれあい元気広場でグランドゴルフ等のニュースポーツができるよう施設を整備する。				改善目標 芝刈りや除草剤散布等の実施時期や回数等の見直しをし、高齢者が快適に利用できるようにする。							
個別計画	-				事業計画 4月～6月 広場整備工事 4月～3月 芝・除草・施肥・駐車場・裸地・生垣手入れ・薬剤散布等の維持管理 4月～3月 高齢福祉課窓口での広場貸出業務				事業計画 4月～3月 高齢福祉課窓口での広場貸出業務 4月～12月 広場の芝刈り、除草、施肥、除草等実施 1月～3月 樹木の伐採、剪定等々の実施							
根拠法令等	つくば市ふれあい元気広場条例・条例施行規則															
事業分類	A 任意的事業															
執行体制	一部委託															
事業の目的	クロッカーやその他のニュースポーツを通して、高齢者の相互交流の促進を図ることにより、高齢者の健康を増進し生きがい意欲を高めるため。				活動実績 4～6月 広場整備工事 ・東側の樹木伐採抜根、芝張り(281㎡) ・西側の芝拡張(85㎡) 4月～12月 芝刈り、除草剤散布、芝除草(年2回) 1月 樹木剪定(年1回) 4月～3月 貸出業務				上半期活動実績 -							
事業の概要	施設の管理 ・ふれあい元気広場のクロッカーコート・ニュースポーツコートの維持管理を行う。 ・ふれあい元気広場の休憩所の維持管理を行う。 ・高齢福祉課窓口において施設の貸出を行う。 ・作岡財産区から無償で土地の借用をし、整備管理を行っている。				成果 芝の拡張等の整備をしたことで、グラウンドゴルフのコートが広がり、快適に利用ができるようになった。				上半期成果 -							
					課題 利用者からグラウンドの芝の状態を良好にしてほしいとの要望が多くあるため、高齢者が快適に利用できるように施設の維持管理をする必要がある。				課題 -							
H28環境関連性	-				事業の進捗状況				事業の進捗状況							
ISO 14001	-				達成				達成							
H29環境関連性	-				改善目標の進捗状況				改善目標の進捗状況							
評価	有効性				中：適切な成果が得られている				有効性				-			
	効率性				中：適切な費用対効果が得られている				効率性				-			
	総合評価				B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				-			
事業実施コスト	H27年度決算				H28年度決算				H29年度当初				H30年度当初			
事業費(A)	1,041千円				3,320千円				1,233千円				0千円			
国庫支出金	0千円				0千円				0千円				0千円			
県支出金	0千円				0千円				0千円				0千円			
地方債	0千円				0千円				0千円				0千円			
その他特財	0千円				0千円				0千円				0千円			
一般財源	1,041千円				3,320千円				1,233千円				0千円			
人件費(B)	1,486千円				1,466千円				1,466千円							
正職員	従事割合				0.20人				0.20人				0.20人			
内訳	時間外勤務				0.00時間				0.00時間				0.00時間			
	臨時職員等				無				無				無			
事業コスト(A+B)	2,527千円				4,786千円				2,699千円							
H30年度当初積算根拠	-				-				-				-			
H30年度の方向性	-				理由				-				-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	6,558千円	6,804千円	7,155千円	0千円
	総人件費	2,972千円	3,663千円	3,663千円	
	総事業コスト	9,530千円	10,467千円	10,818千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	19	食事サービスに要する経費

事務事業名		01 宅配食事サービス事業		指標名	利用者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	申請後、訪問調査を行い、年度末現在本事業を継続して行っている方を利用者数として数える。	
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
総合戦略		- - - -		実績	207名	124名	140名								
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標	-		
根拠法令等		つくば市宅配食事サービス実施要綱		改善目標	安否確認のための手渡しの原則がないがしるにされている傾向があるため、事業の目的を申請時や調査時に再認識してもらい共有を進める。				改善目標	安否確認という事業の目的をきちんと理解してもらえよう申請時や調査時に丁寧に説明を行う。					
事業分類		A 任意的事業		事業計画	65歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯の高齢者に、高齢者向け配食サービス事業所で調理した栄養バランスの取れた夕食を、希望の曜日に配達する。配達時に事前の連絡がなく不在だった場合、本人や親族等に連絡を取り、安否確認を行う。				事業計画	65歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯の高齢者に、高齢者向け配食サービス事業所で調理した栄養バランスの取れた夕食を、希望の曜日に配達する。配達時に事前の連絡がなく不在だった場合、本人や親族等に連絡を取り、安否確認を行う。					
執行体制		一部委託		活動実績	新規利用申込者数：48名 利用者数：140名(3月末時点)				活動実績	-					
事業の目的		買物及び調理が困難な高齢者に夕食を配食することにより、ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の安否確認・健康保持を図るため		成果	業者がきざみ食なども対応可能なので、調査の際にはその点等に留意して柔軟な対応を行い、健康保持と安否確認に寄与できた。				成果	-					
事業の概要		ひとり暮らし・高齢者世帯の高齢者に、高齢者向け配食サービス事業所で調理した栄養バランスの取れた夕食を希望の曜日に配食する。配食の際、利用者の安否確認が取れない場合や異変発生時は、市職員が緊急連絡先に連絡・対応する。		課題	今後も安否確認という事業の目的をきちんと理解してもらえよう申請時や調査時に丁寧に説明をしていく必要がある。				課題	-					
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠			
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている	H30年度の方向性		
				評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	評価	総合評価	-	理由	-				
				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初						
				事業費(A)		6,558千円	6,804千円	7,155千円	0千円						
				国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円						
				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円						
				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円						
				その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円						
				一般財源		6,558千円	6,804千円	7,155千円	0千円						
				人件費(B)		2,972千円	3,663千円	3,663千円							
				正職員		0.40人	0.50人	0.50人							
				時間外勤務		0.00時間	0.00時間	0.00時間							
				臨時職員等		有	有	有							
				事業コスト(A+B)		9,530千円	10,467千円	10,818千円							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	264千円	4,036千円	3,982千円	0千円
	総人件費	11,142千円	10,989千円	10,989千円	
	総事業コスト	11,406千円	15,025千円	14,971千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	計画・施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	22	高齢者福祉計画の策定に要する経費

事務事業名	01	つくば市高齢者福祉計画事業	指標名	会議の開催回数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	高齢者福祉推進会議の開催回数						
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
実績	-	-	-	-	6回	2回	2回	6回	2回	2回	6回								
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-					
改善目標	第6期の高齢者福祉推進会議で委員から出た意見を活かし、平成28年11月開催予定の高齢者福祉推進会議までにアンケートの調査対象者や項目の見直しを行う。				改善目標				高齢者福祉推進会議で意見を聴きながら、9月までに計画書の素案を作成し、11月にパブリックコメントを実施する。その後、パブリックコメントで出た意見をもとに、平成30年3月までに高齢者福祉計画を策定する。										
個別計画	老人福祉計画, 介護保険事業計画				事業計画				5月 第4回高齢者福祉推進会議開催 6月 第5回高齢者福祉推進会議開催 7月 第6回高齢者福祉推進会議開催 8月 第7回高齢者福祉推進会議開催 9月 第8回高齢者福祉推進会議開催 11月 パブリックコメント実施 12月 第9回高齢者福祉推進会議開催 3月 高齢者福祉計画策定				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
根拠法令等	老人福祉法, 介護保険法				6月 広報紙へ委員一般公募の掲載 7月 高齢者福祉推進会議委員の決定 9月 第1回高齢者福祉推進会議開催 11月 第2回高齢者福祉推進会議開催 12月 アンケート調査 3月 第3回高齢者福祉推進会議開催				内訳				事業費(A)	264千円	4,036千円	3,982千円	0千円		
事業分類	C 義務的事業				活動実績				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	一部委託				5月17日 高齢者福祉推進会議設置要項の改訂 6月 6月広報紙へ委員一般公募の掲載 7月6日 28-30つくば市高齢者福祉計画(第7期)策定支援業務委託の契約 7月11日 委員の選定 7月14日 一般公募応募結果送付 8月22日 第1回高齢者福祉推進会議が台風により延期 9月26日 第1回高齢者福祉推進会議開催 11月4日 第2回高齢者福祉推進会議開催 12月1日 第3回高齢者福祉推進会議開催 12月 アンケート調査実施				成果				事業コスト(A+B)				11,142千円	10,989千円	10,989千円
事業の目的	高齢者福祉施策の推進を図るための計画を策定するため。				事業の進捗状況				事業の進捗状況				人件費(B)	11,142千円	10,989千円	10,989千円			
事業の概要	老人福祉及び介護保険の一体的な展開が図られるように「つくば市高齢者福祉計画」を策定する。				達成				達成				正職員	従事割合	1.50人	1.50人	1.50人		
	課題				3年後に向けて、アンケートの回答率を向上させるべく、対策を検討する必要がある。				課題				時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
	H28環境関連性				改善目標の進捗状況				改善目標の進捗状況				臨時職員等	有	有	無			
	H29環境関連性				有効性				有効性				事業コスト	11,406千円	15,025千円	14,971千円			
ISO 14001	有効性				中:適切な成果が得られている				有効性				H30年度当初積算根拠						
	効率性				中:適切な費用対効果が得られている				効率性				理由						
	総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				H30年度の方向性						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	62,691千円	153,917千円	15,477千円	0千円
	総人件費	26,073千円	22,711千円	22,711千円	
	総事業コスト	88,764千円	176,628千円	38,188千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	計画・施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	23	老人福祉施設整備に要する経費

事務事業名	01 地域密着型サービス整備費等補助事業			指標名	地域密着型介護老人福祉施設の定員数				指標種別	成果指標			指標の概要	高齢者福祉計画にて計画されている市内地域密着型介護老人福祉施設の定員数				
	戦略プラン	1	1	高齢者支援体制の整備	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略	-	-	-	-	実績	87人	116人	116人					その他の指標	-				
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			改善目標	H28年度 計画に基づき平成29年度から施設を開設できるよう、工事の進捗管理を行うとともに、事業者に補助金を交付し施設整備を支援する。				H29年度 施設等の防犯対策を強化するため21施設(事業所)に防犯カメラ等を設置する。									
根拠法令等	-			事業計画	4月 地域密着型特別養護老人ホームの整備補助にあたり、補助金交付要項を策定 3月 事業者に対し施設整備費及び開設準備経費を補助				3月 防犯対策強化事業補助金交付要項策定 4月 申請受付 5月 交付決定 事業完了した事業者から順次交付				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類	E 補助金・負担金事業			活動実績	4月28日 施設整備補助金交付要項策定 5月～3月 工事進捗状況確認定例会を開催 10月 介護ロボット導入支援補助事業開始 3月 防犯対策強化事業を新たに実施 H29年4月 施設整備費及び開設準備経費を補助				上半期活動実績				事業費(A)	62,273千円	151,719千円	12,718千円	0千円	
執行体制	職員のみ			成果	つくば市高齢者福祉計画における施設整備目標値を達成した。 科学技術振興課と連携して介護ロボット説明会を開催し、11事業所に介護ロボットの導入を行った。				上半期成果				国庫支出金	469千円	9,880千円	12,718千円	0千円	
事業の目的	つくば市高齢者福祉計画に基づき介護施設を整備し、高齢者福祉の向上を図るため。			課題	防犯対策強化事業を次年度に繰り越して実施する必要がある。				課題				県支出金	61,700千円	141,839千円	0千円	0千円	
事業の概要	つくば市高齢者福祉計画の推進にあたり、公募による事業者選定を行う。また、地域密着型サービス拠点整備を促進するため、県の施設整備補助金を活用する。			評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			有効性	-			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
	H29環境関連性	-	-	効率性	低: 費用対効果が低下(低水準を維持)している			効率性	-			一般財源	104千円	0千円	0千円	0千円		
				総合評価	C: 成果を維持し費用対効果を向上させる必要有り			総合評価	-			人件費(B)	11,142千円	10,989千円	10,989千円			
												正職員	従事割合	1.50人	1.50人	1.50人		
												時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
												臨時職員等	有	有	有			
												事業コスト(A+B)	73,415千円	162,708千円	23,707千円			
												H30年度当初積算根拠	-					
												H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	62,691千円	153,917千円	15,477千円	0千円
	総人件費	26,073千円	22,711千円	22,711千円	
	総事業コスト	88,764千円	176,628千円	38,188千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	計画・施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	23	老人福祉施設整備に要する経費

事務事業名	02 施設指定及び指導監査業務	指標名	指導検査及び監査事業所数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	指導検査及び監査を行う事業所数				
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
			40事業所	40事業所	40事業所	-	-	-	-							
総合戦略	- - - -	実績	47事業所	60事業所	65事業所											
個別計画	つくば市高齢者福祉計画	改善目標	H28年度 指導監査プロジェクトチームにおいて、年間の検査スケジュールを決定し計画的に検査を行う。				H29年度 事業の公平性確保の観点から次回H29.5の委員会までに第1号及び2号被保険者の市民公募を実施する。				その他の指標	-				
根拠法令等	介護保険法	事業計画	4月, 9月, 3月 地域密着型サービス運営委員会を開催し, 地域密着型サービス施設(事業所)の新規指定1件, 更新指定6件を行う。 4月～3月 40件の介護サービス事業者の指導検査を実施する。				H29年3月～4月 ホームページにて委員公募 5月, 8月, 3月 委員会開催 4月～3月 指導検査実施				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類	C 義務的事業	活動実績	4月28日, 9月20日, 3月22日 地域密着型サービス運営委員会開催 4月～3月 介護サービス事業所65件の指導検査を実施 虐待の疑いのある施設に対し定期状況確認実施				上半期活動実績				事業費(A)	198千円	1,872千円	2,295千円	0千円	
執行体制	職員のみ	成果	地域密着型サービス事業所を新規1件, 更新6件指定しサービスの継続・確保を行った。 虐待の疑いのある施設には地域包括支援課による研修受講を指導し現在改善がみられている。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	居宅介護サービス事業所及び地域密着型サービス事業所の指定及び指導監督を行い, 適正な介護保険サービスの充実を図るため。	課題	地域密着型サービス運営委員会委員について, これまで公募を行っていないため市民公募を行い公平性を確保する必要がある。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	事業所の指定申請による指定を行う際, 書類の審査及び現地確認等を実施したうえで指定する。指定後については社会福祉課, 介護保険課と共同で定期的な監査を行う。	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている			有効性	-			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28 環境関連性	事業の進捗状況	達成	-			達成	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29 環境関連性	改善目標の進捗状況	達成	-			達成	-			一般財源	198千円	1,872千円	2,295千円	0千円	
		評価	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-			人件費(B)	14,856千円	10,989千円	10,989千円		
			総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			正職員	従事割合	2.00人	1.50人	1.50人	
											内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
											臨時職員等	有	有	有		
											事業コスト(A+B)	15,054千円	12,861千円	13,284千円		
											H30年度当初積算根拠	-				
											H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	62,691千円	153,917千円	15,477千円	0千円
	総人件費	26,073千円	22,711千円	22,711千円	
	総事業コスト	88,764千円	176,628千円	38,188千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	23	老人福祉施設整備に要する経費

事務事業名		03 高齢者健康遊具事業		指標名	-				指標種別	-				指標の概要		-			
戦略プラン		-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-		-		-			
総合戦略		-		実績	-	-	-	-				-		-		-			
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標		-					
事業の目的		自由に出入りできる公園に健康遊具を設置することで、運動習慣を身につけてもらい、高齢者の外出支援と健康維持を図る。		改善目標	継続して健康遊具の安全確保を図り、利用率を向上させる。				改善目標	継続して健康遊具の安全確保を図り、利用率を向上させる。				事業実施コスト		H27年度決算 H28年度決算 H29年度当初 H30年度当初			
事業の概要		二の宮公園、荃崎運動公園、大池公園、梅園公園、谷田部多目的広場、花畑近隣公園、川口公園の市内7か所に設置してある高齢者健康遊具の点検及び修繕を行う。		事業計画	8月 点検事業者による健康遊具市内7か所の点検を実施				事業計画	8月 点検事業者による健康遊具市内7か所の点検を実施 4月～3月 健康増進課による出前教室を実施				事業費(A)		220千円 326千円 464千円 0千円			
事業の進捗状況		-		活動実績	8月9日、10日 点検事業者による健康遊具市内7か所の点検を実施 8月29日 職員及び健康教室指導者を対象とした、インストラクターによる健康遊具の使用方の講習会を実施				上半期活動実績	-				国庫支出金		0千円 0千円 0千円 0千円			
事業の成果		-		成果	健康遊具の安全を確保し、市民の健康増進に寄与した。				上半期成果	-				県支出金		0千円 0千円 0千円 0千円			
事業の課題		-		課題	健康遊具の経年劣化による不具合が多い。				課題	-				地方債		0千円 0千円 0千円 0千円			
ISO 14001		-		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	その他特財		0千円 0千円 0千円 0千円			
H28環境関連性		-		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		一般財源		220千円 326千円 464千円 0千円		人件費(B)		75千円 733千円 733千円	
H29環境関連性		-		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		正職員		0.01人 0.10人 0.10人		臨時職員等		無 無 無	
H30年度当初積算根拠		-		評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-		事業コスト(A+B)		295千円 1,059千円 1,197千円		H30年度の方向性		理由 -	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	40,237千円	41,190千円	45,922千円	0千円
	総人件費	2,972千円	2,932千円	2,932千円	
	総事業コスト	43,209千円	44,122千円	48,854千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	02	02	12	高齢者生活支援に要する経費

事務事業名	01	在宅高齢者紙おむつ購入費助成事業	指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	申請を受け、交付条件を満たした人へ助成券を郵送にて交付する。		
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
					1,800人	2,500人	2,650人	2,800人	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	-	実績	2,139人	2,250人	2,357人				その他の指標	-		
					H28年度				H29年度						
個別計画	-	-	-	-	改善目標	助成券を紛失してしまうケースもあるため、家族等、確実に受け取りができる方へ助成券を送付できるようにする。				改善目標	助成券を紛失してしまうケースもあるため、家族等、確実に受け取りができる方へ助成券を送付できるようにする。				
根拠法令等	つくば市在宅要介護高齢者等紙おむつ購入費助成規則			事業計画	日常生活において紙おむつを使用している、65歳以上で要介護1以上の在宅高齢者を対象に、年1回、紙おむつ購入費助成券を発行する。助成額：1,000円券×24枚、又は1,000円×48枚(要介護4・5認定者で市民税非課税世帯に属する場合)。申請時期によって給付枚数は少なくなる。				事業計画	日常生活において紙おむつを使用している、65歳以上で要介護1以上の在宅高齢者を対象に、年1回、紙おむつ購入費助成券を発行する。助成額：1,000円券×24枚、又は1,000円×48枚(要介護4・5認定者で市民税非課税世帯に属する場合)。申請時期によって給付枚数は少なくなる。					
事業分類	A 任意的事業			申請受付：随時 協力事業所受付：随時 (1月 現年度協力事業所へ協力申出書送付)					申請受付：随時 協力事業所受付：随時 (1月 現年度協力事業所へ協力申出書送付)						
執行体制	職員のみ			活動実績	助成券交付者数：2357人 65歳以上で要介護1以上の在宅高齢者を対象に、紙おむつ購入費助成券を交付した。 1月 現年度協力事業所へ協力申出書送付				上半期活動実績	-					
事業の目的	紙おむつを必要としている高齢者に対し、その購入費用の一部を助成することにより、当該高齢者及び要介護者を抱える家族の経済的負担軽減を図るため。			成果	紙おむつを必要とする高齢者及びその家族の経済的負担を軽減できた。				上半期成果	-					
事業の概要	日常生活において紙おむつを使用している65歳以上で要介護1以上の在宅高齢者に対し、年間1回紙おむつ購入費助成券を発行する。助成券は1,000円券×24枚、要介護4・5で市民税非課税世帯に属する場合は同券を48枚を限度に交付する。なお、申請時期により、給付枚数が少なくなる。			課題	要介護の方が対象であるため、助成券を紛失してしまうケースもある。				課題	-					
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
	H29環境関連性	大気汚染の防止		評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-						
		本人による助成券受取が難しく、家族等への送付が必要な場合も多いため、送付先を確認し、再配達による余計な自動車の運用を防止する。			効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-						
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	40,237千円	41,190千円	45,922千円	0千円
	総人件費	2,972千円	2,932千円	2,932千円	
	総事業コスト	43,209千円	44,122千円	48,854千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	02	02	12	高齢者生活支援に要する経費

事務事業名	02 はいかい高齢者家族支援サービス事業				指標名	利用者数				指標種別	成果指標			指標の概要	はいかい行動のみられる高齢者を介護している家族に対し貸与している人数。				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			-	-	-	
総合戦略	-	-	-	-	実績	H28年度	8名	2名	2名										
個別計画	-				改善目標	より利便性の高い機器やシステム等について情報収集し、導入を含めて検討する。				改善目標	・民生委員やケアマネジャーの会議等で他の在宅福祉事業とともに事業周知を行う。 ・利便性の高い機器やシステム等について情報収集し、導入を含めて検討する。				その他の指標	-			
根拠法令等	はいかい高齢者家族支援サ-ビス事業実施要綱				事業計画	はいかい行動のみられる認知症の高齢者を介護しているご家族に位置情報端末機を貸出し、はいかい高齢者の保護を支援する。 申請受付：随時 6月 利用者負担額決定				事業計画	はいかい行動のみられる認知症の高齢者を介護しているご家族に位置情報端末機を貸出し、はいかい高齢者の保護を支援する。 申請受付：随時 6月 利用者負担額決定				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	A 任意的事業				活動実績	利用者数：2名(3月末時点) はいかい行動のみられる認知症の高齢者を介護しているご家族に位置情報端末機を貸出し、はいかい高齢者の保護を支援した。				上半期活動実績	-				事業費(A)	0千円	8千円	164千円	0千円
執行体制	一部委託				成果	はいかい高齢者を在宅で介護する家族の精神的な不安の軽減ができた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	3千円	63千円	0千円
事業の目的	はいかい行動の見られる65歳以上の認知症の高齢者を介護している家族に対し、位置情報端末機等を貸与及び位置情報の提供を行い、はいかい高齢者の保護を支援することにより、介護を行う家族の負担の軽減を図るため。				課題	利用者数が少ないため、事業の周知を継続的に行っていく必要がある。				課題	-				県支出金	0千円	1千円	31千円	0千円
事業の概要	はいかい行動の見られる方に、位置情報端末機を携帯していただき、万が一、はいかいしてしまった場合に、位置情報等を特定し知らせることで、家族が保護できるよう支援していく。家族等から申請を受け、市で対象条件を確認して決定後機器の貸与を実施する。				評価	有効性 中：適切な成果が得られている 効率性 中：適切な費用対効果が得られている 総合評価 B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価	有効性 - 効率性 - 総合評価 -				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-	その他特財	0千円	1千円	31千円	0千円
	H29環境関連性	-													一般財源	0千円	3千円	39千円	0千円
															人件費(B)	743千円	733千円	733千円	
															正職員	0.10人	0.10人	0.10人	
															時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
															臨時職員等	無	無	無	
															事業コスト(A+B)	743千円	741千円	897千円	
															H30年度当初積算根拠	-			
															H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	40,237千円	41,190千円	45,922千円	0千円
	総人件費	2,972千円	2,932千円	2,932千円	
	総事業コスト	43,209千円	44,122千円	48,854千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	02	02	12	高齢者生活支援に要する経費

事務事業名		03 家族介護者交流事業		指標名	参加者数				指標種別	-					
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要			
					30名	30名	30名	30名	30名	30名	30名	日帰り旅行への参加者数(～H26年度) 交流会への参加者数(平成27年度～)			
総合戦略		- - - -		実績	33名	26名	6名					その他の指標			
				H28年度				H29年度				-			
個別計画		-		改善目標	多くの方に参加していただけるような交流会の内容を検討する。				改善目標	廃止を含め、今後の事業の在り方を検討する。					
根拠法令等		介護保険法		事業計画	1月 これまでは心身のリフレッシュを重視した日帰り旅行や公演会を行ってきたが、介護者間の交流に重きを置いた講座等を行う。				事業計画	平成29年度から、社会福祉協議会への委託ではなく、高齢福祉課が直接開催することになる。心身のリフレッシュを目的とした講座を行うとともに、介護者の情報交換の場を提供する。					
事業分類		A 任意的事業		活動実績	1月 介護者を対象にした交流会(臨床心理士の先生を招き、アロマセラピーの講座と昼食会)を開催 参加者数:6名(男性2名・女性4名)				上半期活動実績	-					
執行体制		全て委託		成果	介護者を一時的に介護から解放し、日頃の介護疲れを癒し、心身のリフレッシュや、介護者同士の交流を深めることができた。				上半期成果	-					
事業の目的		介護者を一時的に介護から解放し、身体的・精神的負担の軽減を図るため。		課題	参加者が少ないため、廃止を含め、今後の事業の在り方を検討する必要がある。				課題	-					
事業の概要		日帰り旅行や、施設見学等を活用した介護者相互の交流会を開催する。		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-		
ISO 14001		H28環境関連性		有効性		中:適切な成果が得られている		有効性		-					
		H29環境関連性		効率性		中:適切な費用対効果が得られている		効率性		-					
				総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-					
				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	H30年度当初積算根拠			理由		
				事業費(A)		158千円	25千円	42千円	0千円	H30年度当初積算根拠			理由		
				国庫支出金		61千円	9千円	16千円	0千円	H30年度当初積算根拠			理由		
				県支出金		30千円	4千円	8千円	0千円	H30年度当初積算根拠			理由		
				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	H30年度当初積算根拠			理由		
				その他特財		30千円	4千円	8千円	0千円	H30年度当初積算根拠			理由		
				一般財源		37千円	8千円	10千円	0千円	H30年度当初積算根拠			理由		
				人件費(B)		743千円	733千円	733千円		H30年度当初積算根拠			理由		
				正職員		0.10人	0.10人	0.10人		H30年度当初積算根拠			理由		
				時間外勤務		0.00時間	0.00時間	0.00時間		H30年度当初積算根拠			理由		
				臨時職員等		無	無	無		H30年度当初積算根拠			理由		
				事業コスト(A+B)		901千円	758千円	775千円		H30年度当初積算根拠			理由		
				H30年度当初積算根拠		-					理由				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	4,624千円	6,349千円	6,681千円	0千円
	総人件費	2,972千円	3,663千円	3,663千円	
	総事業コスト	7,596千円	10,012千円	10,344千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	01	02	12	高齢者いきいき健康アップ事業に要する経費

事務事業名	01 ICT高齢者いきいき健康アップ事業	指標名	参加者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	年度末現在の参加人数を指標とする。			
戦略プラン	1 1 高齢者支援体制の整備	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
			335名	400名	500名	500名	500名	500名	500名						
総合戦略	- - - -	実績	323名	354名	363名					その他の指標	-				
個別計画	高齢者福祉計画	改善目標	H28年度				H29年度				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
根拠法令等	27ICT高齢者いきいき健康アップ事業実施要項	事業計画	委託業者が変更となり、新システム「N-system」を活用する。参加者の歩数と中強度の身体活動(速歩き)時間を記録し、その結果を2か月に一度参加者へ送付する。 4月 新規参加者募集 5月 既存参加者を対象とした新システム説明会 6月 新規参加者事業説明会及び体力測定 2月 全参加者を対象とした体力測定を実施				活動量計の不具合やタブレットの通信環境の不安定さがあるため、委託業者と連携して対応していく。 4月 新規参加者募集 6月 新規参加者事業説明会及び体力測定 2月 全参加者を対象とした体力測定の実施 4月・6月・8月・10月・12月・2月 月間の運動結果送付				事業費(A)	4,624千円	6,349千円	6,681千円	0千円
事業分類	A 任意的事業	活動実績	4月 新規参加者募集 5月 既存参加者(H25～H27年度、事業参加開始)を対象とした新システム説明会 6月 新システム稼働 新規参加者事業説明会及び体力測定 8月 新規参加者追加募集 10月 新規参加者事業説明会及び体力測定 8月・10月・12月・2月 歩数等の月間結果を参加者へ送付 2月 H25～H28全参加者を対象とした体力測定(194名参加)				上半期活動実績 -				国庫支出金	1,156千円	1,587千円	1,645千円	0千円
執行体制	一部委託	成果	・76名の新規参加申込を得られた。 ・歩数等の運動結果をフィードバックすることで、参加者の運動に対する意識を向上させることができた。				上半期成果 -				県支出金	578千円	793千円	822千円	0千円
事業の目的	活動量計を身につけて、日常自分が歩いている量やエネルギーの消費量を確認し、運動習慣を身につけてもらうため。 また、介護認定になることを遅らせることと医療費の変化も検証し、医療費が削減できているところまでを目的とするため。	課題	・活動量計の不具合やタブレットの通信環境の不安定さがあるため、委託業者と連携して対応していく必要がある。 ・退会者も多いため、継続して参加できる環境づくりが必要である。				課題 -				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	参加者自身が日常的に健康データ(歩数等)をトラッキングし、そのデータを健康管理システムで管理し、健康データの「見える化」に取り組み、行動変容を促進する。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	1,872千円	2,571千円	2,764千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-		一般財源	1,018千円	1,398千円	1,450千円	0千円		
	H29環境関連性		効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-		人件費(B)	2,972千円	3,663千円	3,663千円			
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		正職員	0.40人	0.50人	0.50人			
									時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
									臨時職員等	有	有	有			
									事業コスト(A+B)	7,596千円	10,012千円	10,344千円			
									H30年度当初積算根拠	-					
									H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	0千円	600千円	7,300千円	0千円
	総人件費	0千円	3,663千円	3,663千円	
	総事業コスト	0千円	4,263千円	10,963千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	高齢福祉課	計画・施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	25	介護人材確保に要する経費

事務事業名	01	つくば市介護人材確保事業	指標名	補助金の交付人数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	補助金を交付した総人数					
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
実績	-	-	-	-	-	-	160人	-	-	-	-							
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-				
改善目標	平成28年度当初に、本給付金について、市民への周知を、市ホームページや広報紙を通じて十分に行う。				改善目標				スタートアップで70名、キャリアアップで90名の申請がされるよう、周知方法や事業内容について見直しを行う。									
個別計画	つくば市高齢者福祉計画 つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業計画				事業計画				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等	-				4月 介護人材確保事業における給付金公布規則施行 4月～5月 市民への周知 2月 給付金申請書受付 3月 給付金抽選、交付対象者決定、請求書受取 H29年3月～4月 給付金支払				4月～1月 市ホームページへの情報掲載や各事業所へのチラシを配布するなど、周知に努める。 5月～6月 市内で介護事業所を運営する法人に対し、当該事業に関するアンケートを実施する。				事業費(A)	0千円	600千円	7,300千円	0千円	
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	補助金(間接)				5月30日 ホームページに給付金に関する情報を掲載 6月 広報誌に給付金についての情報を掲載 6月24日 つくば市介護職員就労スタートアップフォロー給付金及びつくば市介護職員キャリアアップ費用給付金交付規則を施行 2月1日～2月28日 給付金申請の受付 3月7日 給付金の決定通知書を送付				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	つくば市高齢者福祉計画に基づき、高齢化率及び高齢者数の増加に対し、市内介護従業者の確保・定着を促進し、介護サービスの安定した供給及びサービスレベルの向上を図るため。				成果				上半期成果				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	つくば市介護職員就労スタートアップフォロー事業 介護業界未経験者の方で、市内介護事業所に新規に就労する方に対し、一時金を助成する。 つくば市介護職員キャリアアップ費用助成事業 市内介護事業所に6ヶ月以上就労している方で、介護職員初任者研修を修了した者に対し、研修費用の一部助成を行う。				課題				課題				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	未達成	改善目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	一般財源	0千円	600千円	7,300千円	0千円	
	H29環境関連性	-	-	-	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			人件費(B)	-	3,663千円	3,663千円		
					効率性	低:費用対効果が低下(低水準を維持)している			効率性	-			正職員	従事割合	0.00人	0.50人	0.50人	
					総合評価	D:費用対効果を向上させる必要有り			総合評価	-			時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
													臨時職員等	-	有	無		
													事業コスト(A+B)	0千円	4,263千円	10,963千円		
													H30年度当初積算根拠	-				
													H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	27,843千円	17,251千円	19,267千円	0千円
	総人件費	7,428千円	7,326千円	7,326千円	
	総事業コスト	35,271千円	24,577千円	26,593千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	桜老人福祉センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	11	桜老人福祉センター運営に要する経費

事務事業名	01 桜老人福祉センター管理運営事業	指標名	施設利用者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	入浴・娯楽設備等の福祉サービス事業に対するの利用入館数		
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
			20,000名	20,000名	23,000名	23,000名	23,000名	23,000名	23,000名					
総合戦略	- - - -	実績	23,000名	24,519名	24,410名					その他の指標	-			
		H28年度				H29年度								
個別計画	-	改善目標	施設内の老朽箇所の点検及び修繕，施設内の立木を伐採するなど施設の整備を行う。				改善目標	28年度に引続き，施設内の老朽箇所の点検及び修繕，施設内の立木を伐採するなど施設の整備を行う。						
根拠法令等	老人福祉法，つくば市老人福祉センター条例	事業計画	施設整備を充実することにより，高齢者同士の健康増進・親睦・教養の向上等の達成度に努める。浴室のシャワーホースの取替 中庭枯れ木の伐採				事業計画	浴室内タイルや混合栓の修繕等，浴室の整備を行う。施設破損が生じるとと思われる立木について伐採する。						
事業分類	F 施設等維持管理事業	活動実績	年4回の中庭の除草及び枯れ枝の撤去や立木の剪定を行った。また浴室内のシャワーホースの取替と混合栓の修繕を随時行った。				上半期活動実績	-						
執行体制	一部委託	成果	敷地内の環境整備をしたり，浴室内の修繕をすることにより来館者が快適に利用できた。				上半期成果	-						
事業の目的	高齢者の健康増進，教養の向上やレクリエーション活動の場を提供し，福祉の向上を図るため。	課題	立木が大きくなり，施設に何らかの破損が生じる恐れがあるため，伐採等立木の手入れが必要と思われる。				課題	-						
事業の概要	入浴設備の適正な施設管理及び整備・各種サークル等の支援や高齢者の活動場所の提供 社会福祉協議会主催事業への施設貸出	ISO 14001	H28環境関連性	-	-	一部達成	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-
			H29環境関連性	-	-		有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-		
							効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-		
							総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		
											H30年度当初積算根拠			
											H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	39,959千円	36,160千円	77,757千円	0千円
	総人件費	26,052千円	18,368千円	18,368千円	
	総事業コスト	66,011千円	54,528千円	96,125千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	谷田部老人福祉センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	12	谷田部老人福祉センター運営に要する経費

事務事業名	01	谷田部老人福祉センター管理運営事業	指標名	施設利用者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	入浴・娯楽施設等の福祉サービス事業に対するの利用入館数							
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度										
戦略プラン	-	-	-	61,000名	65,000名	65,500名	66,000名	66,500名	67,000名	67,500名										
総合戦略	-	-	-	実績	65,099名	68,418名	66,607名													
	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-							
個別計画	-	-	-	改善目標	利用者の状況や推移をみて対応していくとともに、快適な環境を維持する。				改善目標	冷暖房設備の基幹となる吸収式冷温水機が修理が困難な程老朽化している。そのため、省エネ型の電気式エアコンをロビーから順次導入し、快適な環境を維持する。併せてキュービクル設備更新・増設工事を行う。										
	根拠法令等	-	老人福祉法、つくば市老人福祉センター条例	事業計画	カラオケ大会(6月) ヨガ教室(5月から毎月第2月曜日) 浴槽水検査(毎日4回) 浴槽配管薬品洗浄(年2回) その他通年の施設維持管理				事業計画	カラオケ大会(6月) ヨガ教室(5月から毎月第2月曜日) 浴槽水検査(毎日5回) 浴槽配管薬品洗浄(年2回) 地下式オイルタンク改修工事 エントランス空調設備改修・キュービクル更新工事 その他通年の施設維持管理				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
事業分類					F 施設等維持管理事業	活動実績	カラオケ大会(年1回:参加者51人) ヨガ(月1回,定員60人:参加者述べ455人) 飲料水検査(毎火曜日)及び浴槽水質検査(毎日5回) 受水槽検査(年1回)				上半期活動実績	-				事業費(A)	39,959千円	36,160千円	77,757千円	0千円
事業の目的	-	高齢者の健康増進,教養の向上やレクリエーション活動の場を提供し,福祉の向上を図るため。	成果	カラオケ大会及びヨガ教室は健康維持・増進の支援になったと考える。 快適な入浴施設の提供により,利用者の清潔・健康維持に役立ったと考える。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
				課題	高齢者の活動の場として,快適な環境を提供するため,施設整備等を行っていく必要がある。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	-	入浴施設及びカラオケ設備の利用,カラオケ大会(6月),ヨガ講座(5月から毎月1回実施)	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-				地方債	0千円	0千円	29,600千円	0千円	
				効率性	中:適切な費用対効果が得られている					効率性	-				その他特財	1,426千円	1,416千円	1,426千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	-				事業の進捗状況	達成	-				一般財源	38,533千円	34,744千円	46,731千円	0千円	
				改善目標の進捗状況	-					改善目標の進捗状況	-				人件費(B)	26,052千円	18,368千円	18,368千円		
ISO 14001	H29環境関連性	-	評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				正職員	従事割合	3.50人	2.50人	2.50人		
				理由	-					理由	-				内訳	時間外勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間	
												臨時職員等	無	有	有					
												事業コスト(A+B)	66,011千円	54,528千円	96,125千円					
												H30年度当初積算根拠	-				H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	4,254千円	4,635千円	4,634千円	0千円
総人件費	4,457千円	4,396千円	4,396千円	
総事業コスト	8,711千円	9,031千円	9,030千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	荳崎老人福祉センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	13	荳崎憩いの家管理に要する経費

事務事業名		01 荳崎憩いの家管理運営事業				指標名	施設利用者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	利用者数	
戦略プラン	- - - -				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略	- - - -				実績	1,620名	1,328名	1,538名	-								その他の指標	-
個別計画	-				改善目標	H28年度 施設の老朽化に伴う施設・設備等の損壊及び故障個所の修繕・補修				H29年度 前年度から引き続き、施設運営の在り方及び管理方針について、検討する。								
根拠法令等	つくば市荳崎憩いの家条例				事業計画	実態に即した施設運営の在り方検討及び事業の縮小・廃止等を含めた総合的な見直しを行い、管理方針を定める。				課題検討を図りつつ、高齢者を中心とする市民へ憩いの場を提供するため、施設の貸出業務及び維持管理を行う。				内訳	事業実施コスト			
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	・利用人数……1,538名 ・開館日数……311日				上半期活動実績					H27年度決算			
執行体制	一部委託				成果	利用者は例年多少の増減があるが、高齢者同士の憩いの場となった。				上半期成果				H28年度決算				
事業の目的	市民に憩いの場を提供し、福祉の増進に寄与するため。				課題	施設の老朽化により、建物の損壊が激しく、耐震改修も必要となるため、施設運営の在り方及び管理方針について、継続的に検討が必要である。				課題				H29年度当初				
事業の概要	施設貸出業務…利用者へ部屋を貸し出し、管理運営を行う。 施設維持管理業務…施設が安全で快適に利用できるよう維持管理業務を行う。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-	H30年度当初積算根拠			
ISO 14001	H28環境関連性	-			有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-				H30年度 の方向性	理由	-	
	H29環境関連性	-			効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
		-			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	15,719千円	17,349千円	19,508千円	0千円
	総人件費	17,855千円	10,284千円	10,284千円	
	総事業コスト	33,574千円	27,633千円	29,792千円	

部等名	課等名	係等名
保健福祉部	荳崎老人福祉センタ-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	14	荳崎老人福祉センタ-運営に要する経費

事務事業名	01 荳崎老人福祉センタ-管理運営事業及び荳崎農村高齢者交流センタ-管理	指標名	-	指標種別		指標の概要	-											
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度 21,000名	H27年度 18,000名	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -									
総合戦略	- - - -	実績	17,763名	19,396名	22,434名	-												
個別計画	-	改善目標	H28年度 施設・設備の適正管理 ・故障施設・設備の修繕計画又は実施 ・老朽化設備等の修繕計画又は実施		H29年度 前年度から懸案事項となっている建物の部分的箇所及び設備等の修繕工事に必要な設計業務を行う。		その他の指標	-										
根拠法令等	つくば市老人福祉センタ-条例, つくば市荳崎農村高齢者交流センタ-条例	事業計画	・施設利用者に対して部屋の貸出 ・施設, 設備, 機器等の維持管理 (当施設は, 福祉支援センタ-共有施設のため, 福祉支援活動に係る指標設定がされた事業計画があるが, 老人福祉センタ-としての施設利用は, 専ら室等の貸出事業であることから利用者増進を目的とした事業計画がない。なお, 農村高齢者交流センタ-施設部分については, 行政財産使用許可による社会福祉協議会等の高齢者事業が展開され, 施設の利活用が図られている。)		・予算計上の施設各所の修繕 ・設備, 機器等の突発的故障等に対応すべく緊急修繕 ・平成30年度実施予定工事の設計業務委託(3件)		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初							
事業分類	F 施設等維持管理事業	活動実績	老朽化・経年劣化に伴う施設, 設備, 機器等の修繕 ・電気陶芸窯の修理 ・網戸修繕 ・空調器具等修繕及び換気扇交換(1箇所) ・蛍光灯本体交換(4基) ・入口街灯修繕(1基) ・障害者トイレ修繕		上半期活動実績		事業費(A)	15,719千円	17,349千円	19,508千円	0千円							
執行体制	職員のみ	成果	特に福祉支援センタ-事業の日常業務の停滞を招かないよう施設の老朽化による突発的な緊急修繕に対応した。		上半期成果		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円							
事業の目的	高齢者の技術及び知識を生かした生産活動や生涯学習, 及び健康増進の場を提供することにより, 福祉の増進・向上を図るため。	課題	施設全体が老朽化していることから, 外観からは確認できない突発的な設備, 機器等の故障が発生するため, 総括的な改修計画が困難である。		課題		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円							
事業の概要	施設貸出業務・・・利用者に荳崎老人福祉センタ-及び荳崎農村高齢者交流センタ-の部屋の貸出, 管理運営を行う。 施設維持管理業務・・・施設が安全で快適に利用できるよう維持管理業務を行う。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
ISO 14001	H28 環境関連性 H29 環境関連性	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている	有効性	-	その他特財	310千円	382千円	309千円	0千円	一般財源	15,409千円	16,967千円	19,199千円	0千円		
	地球温暖化の防止	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている	効率性	-	人件費(B)	17,855千円	10,284千円	10,284千円	正職員	従事割合	2.40人	1.40人	1.40人	時間外勤務	10.00時間	10.00時間	10.00時間
		総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	総合評価	-	臨時職員等	無	無	無	事業コスト(A+B)	33,574千円	27,633千円	29,792千円					
										H30年度当初積算根拠								
										H30年度の方向性	-	理由	-					